

善了寺ニュース 8月号

今月の主なメニュー

- | | |
|----------|---------|
| 1, 善了寺日記 | 3, おしらせ |
| 2, 行事案内 | 4, 住職雑感 |

発行責任：浄土真宗本願寺派
善了寺住職 成田智信
第170号
発行日：平成22年8月1日

お盆とは報恩感謝のご法要

善了寺日記

本当に暑い日が続きます。みなさんお体を自愛ください。

「ご恩に感謝する」お盆のご法要

今年のお盆は、暑さが厳しいので、お寺まいりもままならない。そんなお盆になりそうですよね。お盆期間中も、涼しい時間帯のお参りをおすすめします。午前10時・午後二時のご法要は、本堂を涼しくしてお勤めしております。どうぞ、ごゆっくりお参りください。

さて、今年は、浅井先生の新盆法要でもあります。いつもこの夏にお会いしていたので、寂しさもつものですが、先生がお伝えくださった教えを大切に頂き、お盆をお迎えしたいと思えます。生前、先生がすめられたお仕事の中で、『拝読 浄土真宗のみ教え』という、生活の中にお念仏のみ教えを伝えていく、声を出して読む本があります。お寺にありますから是非お求めいただきたいと思えます。

その中に、「お盆」という文章があります。

「浄土へと往生した人は、如来の願力によつてすみやかにさとりをひらき、大いなる慈悲の心をおこす。迷いのこの世に還り来たり、私たちを真実の道へ導くことと常にはたらかれるのである。」『拝読 浄土真宗のみおしえ』四二頁

「ご恩」と申しますと過去のものと思いがちですが、浄土真宗の救いは、「今」です。「今」み仏となりて、真実の道へ導きはたら、有縁の皆さまの御恩に感謝していく、それは、過去・現在・未来をばらばらにすることではありません。浄土真宗の教えをよりどころとする報恩感謝の心が無量なる生命の絆を紡いでくださるのです。

「死」は滅びではありません。「死」は忌み嫌う事ではありません。「死」は常に仰っていました。このお盆、お念仏をよりどころとして、報恩感謝の心を生活の中に頂いてまいります。お盆の時だけ、限定で、帰ってくるではありませんよ。常日頃から、共にある。だからこそ、日常生活のなかに報恩感謝のこころを頂いてまいります。

門、徒マ通信

ひぐらしや計に急く雨の切り通し

鎌倉 山本照子

過去帳に繰りて今宵の茸飯

矢部町 金子育代

いつも素敵なご投稿ありがとうございます。どうぞお体ご自愛ください。

合掌

ご家庭でお盆を

お迎えするときの心がまえ

お盆をお迎えする中心は、お仏壇です。お仏壇は、私たち一人ひとりを抱き取る、阿弥陀様の大慈悲が表されている場所です。大切な方を偲ぶときも、お仏壇を中心に頂きましょう。そこには必ず仏法を聞く生活が開かれてまいります。

まず、お仏壇のお掃除からはじめましょう。お仏壇の仏具の並べ方がわからない方は気軽に寺にご相談ください。

お花とろうソクと香炉を整えましょう。お花は新しく、ろうソクも新しいものに替えましょう。いつもよりちょっといいものを選んでみてはいかがでしょうか。お香は、お盆のために、よい香りを選んで、お参りされるすべての方が心落ち着くよい香りを献じましょう。お寺はいつも京都薫玉堂から取り寄せています。

<http://www.kungyokudo.co.jp/>

お供物は季節のものや大事な方が大好きだったものなど、お参りが終わったら思い出話をしながら、みんなで頂くことが大切です。いのちを粗末にしないことは、先に往生された大切な方々をどのように思っているのかということ一つです。こころを大切に一つひとつ丁寧に準備してお盆をお迎えしましょう。

合掌

8月・9月の行事予定

新盆法要 午前の部

8 / 8 (日) 10時

新盆法要 午後の部と定例法話会

8 / 8 (日) 14時

講師 常光寺住職 鶴山信行師

新盆法要は、今年新盆の方を対象としたご法要です。但し午後の定例法話会にはどなたでも参加できます。

お盆法要 13日～16日

期間中毎日 10時・14時にご法要

法輪廟お盆法要 8 / 14 (土) 14時

全戦没者追悼法要・お盆門徒総法要

非戦平和コンサート シャンソン歌手 佐藤慧子

8 / 15 (土) 14時

親鸞聖人月命日・浅井先生月命日法要

8 / 16 (日) 10時

『愚の力』輪読会 8 / 17 (火) 9時

お盆の為特別な日程です。

定例法話会

9 / 8 (水) 14時

講師 住職自勤

テーマ「真実の教え」

～『拝読浄土真宗のみ教え』より～

親鸞聖人月命日・浅井先生月命日

『愚の力』輪読会 9 / 16 (木) 9時

秋季彼岸会 法要期間

9 / 20 (月)～9 / 26 (日)

期間中毎日 午前10時・午後2時法要

秋季彼岸会門徒総法要

9 / 23 (秋分の日) 14時

いっぱい泣いて いっぱい笑って

ふれあいデイサービス「還る家とともに」

介護保険事業所番号 1471001428

毎週 月曜日～土曜日まで

時間帯 午前10時～午後4時

お気軽にご相談ください。



お盆期間中に関するご案内

お盆期間中 十三日～十六日(毎日お盆法要が、おとまりになります。お時間をあわせて是非お参りください。

午前十時～ 法要 午後二時～ 法要

法輪廟お盆法要

八月十四日(土) 午後二時～

全戦没者追悼法要並びにお盆門徒総法要

八月十五日(日) 午後二時～

期間中車の混雑が予想されます。例年の混雑に加え開発事業の影響により、駅に抜ける道が閉鎖されています。

大変ご迷惑をおかけしますが、なるべく車でお参りはご遠慮ください。手を合わす気持ちをお互いに大切にしながら、気持ちよくお参り致しますしよ。

お墓参りこそ温かな心でお参りしませしよ。



お盆参りに際して皆様へのお願い

一、どうぞご本堂にお参りください。善了寺の主はご本尊様です。お墓参りの際には是非お参りください。

二、ゴミの分別にご協力ください。和やかな顔で、やさしい言葉でどうぞご協力ください。また、善了寺の手桶は、みなさんで譲りあって大切にお使いください。

三、お盆期間中の駐車スペースについて大変混雑が予想されます。なるべく公共の交通機関をお使い頂くか、善了寺周辺にも公共の駐車スペース(コインパーキングがお寺の坂下に出来ました。)がございますので、そちらをご利用ください。何卒ご協力のほどお願い申し上げます。



平成22年度 全戦没者追悼法要 お盆門徒総法要

佐藤慧子さんは、小学校1年生のとき、爆心地からわずか3.6キロの広島市郊外の自宅で被爆しました。「二度と思い出したくない」と、以来決して被爆体験を語ることはありませんでした。やがて結婚して広島を離れ、横浜へ。子育てを終えて出会ったのがシャンソン。魅力にとりつかれ、戸川昌子さんや三浦高広さんに師事。本格的にシャンソンを学びました。

過去を封じ込めてきた慧子さんが変わったのは、湾岸戦争。ニュースで聞いたサイレンの音に、あの日見た悲惨な光景が甦りました。二度と戦争が起こらぬよう、自分の体験を伝えていこう……。以来、シャンソンを歌いながら、自身の被爆体験を語るコンサートを地道に続けていらっしやいます。昨年本当に感動しました。ご好評を頂き今年もお呼びしました。平和を願い共に尊いお盆の御縁を頂きましょう。

平成22年8月15日(土)午後2時～午後4時頃

第1部 法要

第2部 非戦平和コンサート

シャンソン歌手 佐藤慧子さん

どなたでもお参り頂けます。是非お誘い合わせのうえお参りください。

住職雑感～編集後記～

先日お寺で、矢部町内会の盆踊りがありました。前任職と私と顕慈、三人でやぐらにあがらせて頂きました。本当に有り難いことでした。矢部町にも多くのご門徒のみなさんがおられます。町内の方々と御一緒にお寺を大切にしていたき心から感謝申し上げます。私も、十年近く矢部町の太鼓をたたかせて頂いております。やぐらから見渡す墓地に、ほんのりと提灯がうつる姿に、往生された多くの方々のお顔が浮かびました。にっこりと微笑んで一緒に楽しんでくれていた。大慈悲に抱かれながら一夜を過ごさせて頂きました。どうぞみんさんも、安心して、阿弥陀様におまかせして、いのちの絆を迷信や俗信によって断ち切られない、有り難いお盆をお迎えしましょう。

善了寺の底力は、ご門徒のみなさんの報恩感謝の心にあります。それは、「ありがとう」のこころです。大事なのは、阿弥陀様の仰せをより所にあることです。ありがとうございますは絆を生みます。ありがとうございますは孤独の間を打ち破ります。私も大切にします。御一緒に報恩感謝のお念仏申しましょう。

二〇一〇 仏教壮年会企画 特別団体参拝IN新潟
平成三年十一月五日(月)～一六日(火)

一泊三日

仏教壮年会のみなさんの積極的な企画で、おかげさまで新潟の親鸞聖人ご旧蹟参拝が実現しました。来月号に詳細をお知らせします。御予定ください。どなたでも、参加出来ます。

住職 合掌

発行責任 浄土真宗本願寺派善了寺 住職成田智信

メール: totuka@sol.dti.ne.jp ホームページ <http://www.sol.dti.ne.jp/~totuka/>

住所: 横浜市戸塚区矢部町125 電話: 045-881-0348 FAX: 045-881-0379